

音楽科学習指導案

指導者 黒瀬町立板城西小学校 富樫 真紀

1. 学 年 第1学年 18名
2. 日 時 平成14年10月11日(金) 第5校時 (音楽室)
3. 題 材 名 いいおとさがして ~ほしのおをつくろう~
4. 教 材 名 「きらきらぼし」「うちゅうじんにあえたら」「きらきらぼしのおはなし」
「おもちゃのチャチャチャ」「おもちゃのへいたい」

5. 題材について

(1) 題材観

音楽に合わせて動いたり踊ったりする楽しさは、音楽の美しさや楽しさを身体の動きを通して表現することによって、音楽のもつ気分を自分自身で、あるいは他の人と共感しあえる、というところにある。音や音楽を聴いて感じたままに動くことは、見えない音や音楽を感じる音楽に変えていくことになる。このことは、音楽を感じ取ったり互いに共感する上できわめて重要な意味をもっている。

本題材は、きらきら星の音楽から星の探検へつなげる。星の様子を音で表現し、それらの音を身体表現しながら聴き合うことで星の探検をしようというものである。

この学習を通して、これまで何気なく聞いていたいろいろな音の響きに注目し、様々な音遊びを楽しませ、それらをより身近なものとして経験することによって音そのもののおもしろさに気づき、音の響きによって表される様々な気持ちや情景などを想像できるようにする。

また、一つの楽器や音素材から何種類もの音が出せること、身の回りのいろいろなものを楽器とすることができることに気づかせていく。子ども一人一人の自由な発想のもとに、音を探し、表現していく創造的な音楽づくりを体験することで音に関する感性を養っていく。また、聞こえてくる音の感じをそのままに動くことによって音色に対する関心を高め、強弱や速度といった表現要素、音色・リズムといった構成要素を感じ取っていけるようにする。さらにこのような活動を歌唱や器楽の活動に生かすことでより豊かな表現を楽しむことができるようにする。

(2) 児童観

本学年の児童は、素直で明るく、音楽の時間をとても楽しみにしている。音楽の授業のはじめにはゲームや、音や音楽にあわせての身体表現、リズムリレーなどを取り入れているが、それぞれ音に楽しみながら関わり、のびのびと身体表現をすることができる児童も多い。また、歌を歌う時は、自然に音楽に合わせて動いたり、歌詞の様子を動きで表そうとする。

音や動きとの関わりでは、今までには教師の演奏する音楽の感じや強弱・速度に合わせて、動いたりとまったりする活動、いろんな音色のする楽器にあわせて動いたり、雨の日の音づくりなどの経験がある。また、音楽室にある楽器・音素材すべてを自由に音を出して、音遊びをした経験がある。

これらの学習において児童は音に耳をよくすませながら、音に対して敏感に動いたり、音のイメージをとらえることができていた。しかし、音を探す活動の際には、音素材も楽器になるところまでは至らず、ハンドベルや鉄琴など響きがあってきれいな音を好む傾向がある。また、みんなと動くことは楽しいが、自分だけが注目されることに対して恥ずかしいと感じる児童もいる。

(3)指導観

本題材では、自分たちの空想した星の様子にあう音をつくることで、音表現の幅を広げるとともに、その様子を表す音を動きで表現していくことで、より音を楽しむことができるようにしていく。また、自分の音も友だちの音も大切にすることで、お互いを大切にする気持ちを育てていきたい。

指導にあたっては、音を自由に探していくことから始める。一つの楽器からたくさんの奏法を探したり、奏法を変えることで音色が変わっていくことや、身の回りにある音素材も楽器になることに気づかせていく。そして、これらの音の経験をもとに、動きを音にしていく。動きのリズムや速度・強弱・構成を変化させながら、音と動きが一致したときのおもしろさを感じ取らせる。また、音や音楽に合わせての身体表現も授業の中に位置づけて継続的にやっていく。

「きらきらぼし」では、地上から見た星の美しさを思い出し、簡単なお話をつくって朗読やつくった音・歌などを組み合わせて表現をつくっていく。

さらに、地上から見ると星は夜空に輝いているが、宇宙へ行ってみたら星はどんな様子をしているかを想像し、星への探検につなげる。宇宙のいろんな星の物語を提示し、それぞれの星の様子を表す音をグループで分担して表現していく。

星の様子を表す音づくりでは、音色・音の高さ・強弱・速度・マレット（ばち）などを工夫しながら音探しができるようにする。それぞれの星の様子を簡単なストーリーと音で表現して、話にあわせて探した音を順番に出したり、重ねて出したり表現できるようにする。

そして「みんなの星を探検しよう」というテーマで、それぞれのグループが出す音を聴いて身体表現しながら聴き合い、探検していく。身体表現することで音の特徴や強弱や速度の変化といったを感じ取ったり、それぞれの音のよさを感じ取っていけるようにする。身体表現については、互いの良さをしっかりと認め合いながら、自由に表現できるようにする。

また、教室の中に各星の場所を決めておき、星の様子を表す絵を貼るなどして、探検の気分が出せるような雰囲気づくりを行っていく。

6．題材の目標

- 楽器や身の回りの音素材の響きのおもしろさに気づき、進んで表現しようとすることができる。 （音楽への関心・意欲・態度）
- 音の響きの違いや音の出し方の工夫に気づき、音の特徴を感じとって身体表現をすることができる。 （音楽的な感受や表現の工夫）
- 歌詞の表す様子や気持ちを思い浮かべながら歌うことができる。 （表現の技能）
- 星のイメージを音で表現することができる。 （表現の技能）
- 楽器の効果的な奏法や音による描写、曲想の変化に親しむことができる。（鑑賞の能力）

7. 評価規準

ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や 表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
楽器や身の回りの音素材の響きのおもしろさに気づき、進んで歌ったり表現をしている。	音色や響きの違いに気づいたり、音の出し方を工夫したりしている。 音の特徴を感じとって即興的に動いている。	歌詞の表す気持ちや様子を思い浮かべながら歌っている。 星のイメージにう音をつくって表現している。	楽器の効果的な奏法や音による描写に親しんでいる。 変奏による曲想の変化など場面の変化を感じ取っている。

8. 指導計画(全9時間)

教材	次	時	学習内容	評価					
				関	感・イ	技	鑑	評価規準	評価方法
	第 一 次		○いろいろな音の出し方を工夫して，楽器や音素材の音色や響きの違いを感じ取る。		○			ア 楽器や身の回りの音素材の響きのおもしろさに気づき，進んで音を探している。 イ 音色や響きの違いに気づいているんな奏法を工夫している。	表情や態度の観察 演奏場面の観察 自己評価
		○動きにあわせて即興的に音を探したり，音色を感じ取って即興的に動いたりする。 ○音に合わせて動きを工夫する。 ○教師や児童の動きにあわせて音で表現する。					イ 音の特徴を感じとって即興的に動いている。 イ 動きにあわせて即興的に音を選んで表現している。	動きの観察 演奏聴取 自己評価	
きら きら 星 宇宙			○様子を思い浮かべて歌ったり，星のイメージにあう音を加えたりして表現する。 ・星のきらきらした様子を表す音を探して表現する。 ・星にあう音を好きなところで鳴らす。 ・話にあわせて音を加える。		○			ウ 歌詞の表す様子を思い浮かべながら歌っている。 イ 星のきらきらした様子を話にあわせて音で表現している。	演奏聴取 演奏場面の観察 自己評価

人 に 会 え た ら ↓ ↓ き ら き の ら お ぼ 話 し	二 次	○ 交互唱をしたり，曲にあう身体表現を入れる。			ウ 歌詞の表す気持ちや様子を思い浮かべ，身体表現をしながら歌っている。	演奏観察
		○ いろいろな星の様子をグループごとに音で表す。 ・ イメージ探検をする ・ くらやみの星 ・ ころころ星 ・ かちこち星 ・ 鳥の星 ・ 風の星 ・ 大男の星 ○ 音色や響きの違いに気づきながら音の出し方を工夫する。 (本時)	○		ア 星の様子を表す音を進んで探している。	表情や態度の観察
		○ みんなの星の音を鑑賞する。 ・ それぞれが音を発表するのを身体表現しながら聴く。 ・ 音の特徴や強弱・速度の変化を感じ取って聴く。 ○ 曲の気分にあった場面を想像し，身体表現をすることができる。			イ 強弱や速度・奏法などを変化させて星の様子を表す音を工夫している。	演奏聴取 ワークシート
おお も ち ち や や の の チ シ ヤ ン チ フ ヤ オ チ ニ ヤ ー	三 次	○ 挿絵を見て，おもちゃから出る音を想像しながらきくことができる。			エ 楽器の音色や響きの違いを感じ取っている。	鑑賞態度の観察
		○ イメージあう音を加えて，歌うことができる。		○	ウ 歌詞の表す気持ちや様子を思い浮かべながら歌っている。 イ イメージに合う音を，音の出し方を工夫して表現している。	演奏聴取 演奏聴取 自己評価

9. 本時の目標 ○星の様子を表す音を表現し、それらの音の特徴を感じ取って動いていく中で他者の表現のよさに気づくことができる。

10. 本時の展開 (第二次 第4時)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
音楽ゲーム 「かもつれっしゃ」 「きらきらぼし」 「うちゅうじんにあえたら」 を歌う。 本時の学習課題を確認し、本時の見通しをもつ。 音にあわせて動きながら、みんなの星を探検しよう。 星の様子を表す音を練習する ・話にあわせて音の順番を考える ・音の強弱 ・音の速度 星の探検をしながら、お互いの音を聴きあい、音に合わせて身体表現をする。 ・音素材・音程・強弱・速度 ・ストーリーにあわせて。 ・音の感じや変化にあわせて感想を出し合う。 ・よかったところ ・その星に行った気分になれたか。 次時の課題の確認。 ○星の音楽を完成させよう。	○音楽の感じを変化させながらゲームをする。 ○曲の表す様子や雰囲気を出せるよう、身体を動かしながら歌う。 ○つくったストーリーにあわせて音を出す順番を確認したり音の速度・音の強さを工夫しながら様子を表す音をつくっていくよう助言する。 ○教室の中にそれぞれの星の場所を決め、探検の気分が出せるよう、教師の演奏に合わせて歩いたり、宇宙遊泳をしたりする。 ○各グループの発表では、まず感じがでているかどうか、音を聴きあう。感じが出ていたら、その音にあわせて身体表現していく。 ○音を聴いてよかったところや、動いてみて楽しかったところ、もっと音を変えたら動きやすい、などを出し合えるようにする。 ○ストーリーにあわせて音を変化させ、音の変化に合わせて身体表現を工夫できるように音をよく聴くことを大切にさせる。	イ 星にあった感じの音を探し、音の出し方を工夫することができる。 イ 音の特徴を感じ取って身体表現することができる。	演奏聴取 音づくりの活動の様子 身体表現の様子の観察 発表の様子

準備物 音素材(ウッドブロック、木琴、マラカス、ビニール袋、ティンパニ、大太鼓、シンバル、ウィンドチャイム、など)、ワークシート、それぞれの星の絵、歌詞カード、短冊